

## 持経宿・平治宿の迎春準備

◇実施日 平成26年12月14日(日) 晴時々雪時雨、  
◇参加者 川島 功、児嶋道夫、中前 偉、野間 清  
野間 愛、村吉光夫、中根裕磨、梶野照雄 8名

昨日より今季2度目の寒波が南下している。五郷町迄来るが路面は乾いている、雪雲の切れ間から南奥駆稜線が真っ白になって見える。南池原トンネルを抜けると様相が一変し、路肩にうつつらと雪が残り、屋根が真っ白に冠雪している。

池原公園に着くと、急遽今朝2時過ぎに勤務を終えて馳せ参じた村吉氏と堺市からの梶野氏が待機している。伯母峯峠辺りは、バリバリに凍っていたとのこと。又、村吉さんから自作の特大白菜が、参加者に手土産に配って下さる、どうも有難う。

公園入口のトイレは、現在修理中で約300m奥のグラウンド前まで行く必要がある。

初参加の本宮町伏拝の中根君も合流し、自己紹介と本日の作業内容を説明する。

村吉車(梶野)、児嶋車(川島)、中前車(野間夫妻・中根)に分乗し9時前に出発。池郷林道に入ると路面が白く雪が凍結し、所々除ける程ではないが角の立つ落石がある。

林道約2km走行中におかしいと児嶋車が路側の広い地点で停車、右前輪パンクだ。後続の中前車はパンクに気付き、待避所を捜し走行していると思っていたとのこと。先導の村吉車は、ノーマルタイヤの児嶋トラック車は、走行が難しいと思いい走行していたので、停車に気付きバックで戻って来る。

帰りに予備タイヤに交換することにして、村吉車に児嶋車の

発電機と薪割り機及び川島、中前車に児嶋氏が分乗し、スタッドレスタイヤ装着のRV車2台で走行。

日陰の所は積雪5cm位ある。持経宿に近づくにつれ尾根風下側になり、林道の積雪が少なくなるが、尾根の持経宿周辺は、積雪5cm強あり風も強い、気温零下5℃。先行している軽トラの轍は、持経宿の水場方面に行っており猟の車の様だ。



積雪の持経宿前

持経宿前道路に駐車

行者堂で勤行

荷を持経宿に運び込み、不動堂で導師；中前氏、法螺師；中根君により般若心経を全員で唱和勤行。中根君は法螺貝を上手に吹き、久しぶりに高低のある格調高い法螺の音に感服・感動する。法螺貝を吹くには口横で、正面はトランペット吹きと村吉さんに。

千年檜祠・千年檜迄は、梯子を持ち全員が行く。千年檜祠で勤行後、平治宿・迎春準備班は、若手の中前、梶野、中根、野間先生に行つて貰う。野間先生の奥さんは運動靴で残留する。

残留組は、千年檜祠・祠下の清水さんのお供え替え、千年檜の注連縄張りをする。中根君持参の大豆、ゴマもお供えする。

氷点下での北西風がやや強く顔面が痛く手がかじかむ中、旧注連縄を外し、新注連縄に白布を付け、正面高さを長枝棒で調

整して、村吉さんが梯子に上って張り結んで貰う。その間、川島シキミを採りに行く。

花立ての旧シキミは凍っており取替えられず、花立て内の横隙間に沖崎氏調達の高野槇と新しいシキミを立てる。



千年檜祠で勤行

迎春飾り後の千年檜祠

千年檜の新注連縄

11時頃に作業を終え持経宿に戻り、村吉さんは備品棚内の在庫品確認と持参焚付け用薪の整理。川島は不動堂のお供え替えと迎春飾り、賽銭と持経宿志納金(1万六千円)の回収。

先生の奥さんは宿内迎春飾りと掃除。児嶋さんは、発電機行仙宿の前備品)で、新規調達の薪割り機を作動させるが、発電機が回り発電しているが、薪割り機が作動しない。家での試運転の際は作動したのに、寒いのかな?原因が判らずあきらめる。

玄関前の雨水貯槽は、約1cmの氷が張っている。氷を割って雨水をバケツで汲み出し底の栓を抜く。ポリタンクの飲料水は、氷っておりストープ横に置き溶かし、氷混ざりで捨て空にする。

ストープの横に飯台を寄せ、即席味噌汁・スープなどで昼食。児嶋さんストープ上で秋刀魚缶詰、銀杏を焼いて下さる。

ストープ横の頭上から寒い風が吹いて来る。煙抜きから吹き込む様だ。

昼食後、上手で中根君の前で吹けなかったと、村吉さん自前法螺で練習する、以前より本当に上手くなっている。

北側の煙抜きは川島、南側の煙抜きは児嶋氏がベニヤ板を打付け吹込みを少なくする。村吉さんは、持参の大斧で薪割り、その後児嶋・川島も加勢する。この頃には晴れて風も弱まり暖かく感じるが零下2℃。



梯子を持って戻る

ストープ横で昼食中

薪割り作業

### 平治宿班の報告

平治宿迎春準備のため、中前・梶野・中根・野間で千年檜を10時30分に出発する。当日は、寒波の影響で道には雪が残っており、深いところでは10cmの積雪であった。そのため、道はたいへん滑りやすい状態で、下りは慎重に歩かなければならない状況であった。さらに強風が頬を刺し、厳しい状況の中での歩行であった。しかし、降雪はほとんどなく、雪道を素晴らしい景色の中で歩行できたことは幸運であった。

そのような状況の中、50分ほどで平治宿に到着した。4人は早速貯水槽とドラム缶の水抜き作業に入った。しかし、昨日からの寒さで、いずれも10cmほどの氷が張っており、水抜き作業は、まず氷を割る作業から入った。ハンマーやバチツル等

の道具を使用し、何とか水抜き作業やそれにかかわる物の片づけや整理・整頓を終了することができた。

その後は、宿に入り、迎春のためのお供え、カレンダーの交換、玄関の注連飾り、志納金の回収を行った。

厳しい寒さの中での作業だったため、ストーブに火を入れ、昼食をとったが、宿の中でも吐く息は白くなる状況であった。最後に、みんなで手分けをして室内の掃除や片づけを行い、宿を12時55分に出た。

帰路も行きと同じような状況の中、13時45分持経宿に無事到着した。

私は、今回のような雪道を歩くのは初めてで、そのための注意事項や装備等のアドバイスをいただくことができた。降雪のため道がはつきりわからない状況でも、赤いテープの目印や道端に刈った笹を頼りにして、迷うことなく安全に歩行することができた。整備の重要性を痛感する一日であった。

(記：野間)



平治宿便所のドラム缶



迎春飾り平治宿と作業班

平治宿班の4人が戻りコーヒーで小休止。少し前に軽トラが引き返して来る、その直後にGPS首輪の付いた猟犬が我々の所でウロウロして離れない。

無事終了の勤行をして下山する。犬はついて来ない

持経宿から約2km下ったカーブ地点で後続車・中前車を待つが下りて来ない、あまり遅いので1km程戻ると、昨日スタッドレスタイヤに交換の右前輪がパンク。チューブレスタイヤの説明書を読みながらパンク修理中。バイクセンター児嶋さんが仕事柄奮闘しているが空気圧が上がらない。タイヤ横を切っており、チューブレスタイヤは接地面以外の修理は、不可と書いてある。林道の地道走行時は、予備タイヤ必携を痛感する。

角の立つ落石は冠雪で見づらく、普段なら触れた石が横に飛んだりするが、凍結で石が動かない事などの要因で、パンクが連発したと思われる。

路肩に止めて下るか思案していると、村吉車の予備タイヤが間に合うのではと梶野氏がナット間を測ると使えそう。村吉車の荷物を全部降ろし、中前車に予備タイヤを嵌め込めと使えそう。ナットを締めるが締まりにくいとの事だったが、ゆっくり走行し林道ゲートで確認すると緩んでいない。

ゲートからの舗装路面の雪は溶け、池原公園まで下れそう。下ってから新宮組等の帰宅配車が問題だ。

そうだ！沖崎RV車に迎えを依頼しようとするが携帯が圏外で通じない。児嶋車のパンク地に戻るとドコモ携帯が通じ、沖崎氏に通話するがつかない。

ここでも梶野、村吉、野間氏がタイヤ交換に率先して支援して下さる。

直ぐに沖崎氏から折り返しの通話があり、今帰宅した所だと話されたが、2台がパンクし予備タイヤで走行している、中前

車は自前の予備タイヤと違うので公道は無理との判断を伝え、池原公園に迎えを了承して下さい。

中前車のタイヤは特別仕様で注文品のため直ぐ交換出来ないとの事で池原に置くことになり又、村吉さんの予備タイヤ返却の問題もある。すると昨日外したラジアルタイヤを使う手があると・新宮三菱販売店に預けてあるとの事。直ぐに沖崎氏に電話し、店に寄って前輪2本を積込み運搬の了解が得られる。

思わぬハプニングが重なり、お互い少々パニック気味で冷静さが失せている。沖崎さんは、本日新宮市歩け歩け教室の指導員として、中辺路を歩く事を聞いたのに忘れて電話している。

予備タイヤに交換の児嶋車に川島、村吉車に中根氏が分乗し、中前車の負担を少なくする。村吉車内の法螺貝を中村君が吹き、この法螺貝は高音が出にくい性質の螺螺貝との診立て。

池原公園に16時過ぎに無事到着し安堵する。沖崎車が迎えるまで約1時間かかるので、中根、遠方の村吉、梶野氏に帰宅する様に伝え、中前車から村吉氏の予備タイヤを外す。



持経宿内の迎春飾り 迎春飾りの持経宿で撮影 池原公園に無事下山  
両氏から皆と話しているのも楽しい、沖崎氏に逢って帰るとの返事、これから伯母峯越えがあるので待つて下さる。

その間に左前輪も梶野氏のジャッキで持ち上げ、沖崎車が着けば、レース並みに素早くタイヤ交換できると外す。

暖房車内で普段話さない趣味の話など会話が弾み、待つ時間も苦にならない。

すっかり暗くなり前照灯を点けた沖崎車が予定より早い17時半前に到着。歩け歩け教室のバスに軽自動車が小広峠辺りでスリップ衝突するのは、運動靴を履いた参加者もあり積雪の古道を歩くには心配な面もあり、予定を繰り上げて帰宅したから、迎えが直ぐに対応出来たとのこと、本当にご苦労さん。

中前車は、北山村く宮井経由だと自宅の熊野川町には30分早く帰宅出来るとの事から、野間夫妻は沖崎車に乗り換え。

今回は予期せぬ事態になったが、村吉車の急遽参加、沖崎車の手配、多人数による知恵と作業支援など良い偶然が重なり、約2時間遅れで手際よく帰宅出来事が何よりも嬉しい。

初参加の野間さんの奥さんには、積雪と寒さ、パンクによる待機と思わぬ事態が重なり、これに懲りずに今後も夫妻で参加して頂きたい。

最後に、当ぐるーぷ会計に余裕が無いだけに、パンク修理代は自前持ちになり本当に申し訳ない。(記：野間・川島)

### 行動タイム

新宮 7:10→8:30 池原公園 8:55→9:50 持経宿 10:05→10:15

千年檜 11:00→11:10→12:00 昼食 12:50→作業 13:45。

持経宿 14:30→16:15 池原公園 17:35→19:00 新宮

### 平治班

千年檜 10:30→11:20 平治宿 12:55→13:45 持経宿

### 寄贈品

持経宿・トイレ発酵剤(2袋)；梶野照雄。

持経宿・焚付け用竹・薪；村吉光夫。